

CAMPUS PRESS

For all the students

発行

FIT 福岡工業大学

福岡工業大学 / 福岡工業大学短期大学部

〒811-0295 福岡市東区白東3-30-1

TEL 092 (606) 0607 (直) 広報課

[大学ホームページ] <http://www.fit.ac.jp/>

[短大ホームページ] <http://www.fit.ac.jp/jc/>

型を窮めて次の独創へ。平成27年度 合同入学式



平成27年4月2日(木) 11:00~11:30 FITアリーナ

福岡工業大学大学院(第23回) 福岡工業大学(第53回)

福岡工業大学短期大学部(第56回)

満開の桜が新入生を歓迎する中、福岡工業大学平成27年合同入学式が行われました。

下村学長は式辞の中で「文武両道において、型は重要。型を窮めた次のステップに、型にはまらない独創性が存在する。混沌とした時代にこそ、何事にも型を窮め、一流を目指して欲しい。」と新入生たちを激励しました。

入学生宣誓

大学院 工学研究科博士後期課程

知能情報システム工学専攻 榎 俊孝さん

大学 社会環境学部

社会環境学科 木下 真斗さん

短大 情報メディア学科 石橋 沙代子さん

在学生歓迎の辞

情報工学部 情報通信工学科3年 藤岡 雅也さん



下村 輝夫学長式辞

入学おめでとうございます。

入学者総数	1,385名
・大学院	
博士後期課程	2名
修士課程	38名
・大学(編入学生43名含む)	1,147名
・短大	198名



平成27年度 新入生入学前オリエンテーション実施

平成27年3月30日:工学部 31日:情報工学部 4月1日:社会環境学部

福岡工業大学では、新入生を対象に毎年入学前オリエンテーションを実施しています。このオリエンテーションは、学科同級生等との交流や学習の場となる大学キャンパス内の施設案内を通して、新たな環境に戸惑うことなく充実した大学生活を過ごしていただくために行っています。

オリエンテーションのプログラムの多くは、先輩サポーターが数ヶ月前から企画・準備を進めてきたもので、学生生活や大学での学びについてのプレゼンテーションが行われたほか、入学後のキャンパスライフをイメージしやすいように考案されたコミュニケーションゲームなども行われました。新入生はリラックスした雰囲気の中で笑顔のぞかせながら各プログラムに参加し、新たな生活への一歩を踏み出す一日となりました。



豊かなキャンパス環境のシンボル「おとめが池」が新しく生まれ変わりました。



キャンパスの入口に広がり、来学者を快く迎え入れてくれる「おとめが池」が新しく生まれ変わりました。

この半年間、安全安心のための護岸改修、水質の浄化、造園、そして生態系の調査と保護も兼ねて整備を行い、来る3月16日(月)に完工安全祈願祭が執り行われました。美しいみどりの木々に囲まれ、桜や紅葉といった季節感が楽しめ、カモが遊び、鯉が泳ぐ「おとめが池」。これからも学生、教職員のみならず、地域の人々の憩いの場所ともなるように大切にしていきたいと思います。

R&I格付 A JCR格付 A+

2つの格付会社が学校法人福岡工業大学の格付を更新しました。

学園運営のさらなる改革・改善に向けて2つの格付会社から格付審査を受審

学校法人福岡工業大学は、教育・研究・経営・財務に関する第三者評価の一環として、2011年から株式会社格付投資情報センター(R&I)、2014年から株式会社日本格付研究所(JCR)が実施する格付審査を受審し、2社の格付会社による異なる視点からの評価を受けることで、学園運営のさらなる改革・改善に努めております。

格付会社について

格付会社とは、国内外企業の債券の格付、学校格付、自治体格付などを行う株式会社です。具体的には、社債や国債などについて情報を収集し、信用力や元利金の支払い能力の安全性などについてアルファベットなど(下記参照)わかりやすい記号でランク付けし、発表することなどを目的とされています。(参考:R&I 格付符号と定義)

- AAA 信用力は最も高く、多くの優れた要素がある。
- AA 信用力は極めて高く、優れた要素がある。
- A 信用力は高く、部分的に優れた要素がある。
- BBB 信用力は十分であるが、将来環境が大きく変化する場合、注意すべき要素がある。
- BB 信用力は当面問題ないが、将来環境が変化する場合、十分注意すべき要素がある。
- B 信用力に問題があり、絶えず注意すべき要素がある。
- CCC 信用力に重大な問題があり、金融債務が不履行に陥る懸念が強い。
- CC 発行体のすべての金融債務が不履行に陥る懸念が強い。
- C 発行体のすべての金融債務が不履行に陥っているとR&Iが判断する格付。
- D ※AA格からCCC格については、上位格に近いものにプラス、下位格に近いものにマイナスの表示をすることがあります。プラス、マイナスも符号の一部です。

R&I格付で2011年から5年連続の「A」を維持、JCR格付で2014年から2年連続の「A+」を維持

これら2社からの格付結果は、本学園が「For all the students ~全ての学生生徒のために」を経営理念に「九州No.1の教育拠点」の実現を目指してさまざまな「学校改革」を着実に進めた結果であり、学園全体の経営の安定性に対する評価を表すものといえます。今後も学生生徒の視点に立った学園運営に努めるとともに、不断の改革・改善を行い、社会に貢献できる人材の育成に努めてまいります。

トピックス

情報システム工学科「FITポケットラボ」の2名がグッドパフォーマンス賞受賞。

2015年2月28日(土)、3月1日(日)、神戸市の神戸国際会議場で開かれた文部科学省主催の「第4回サイエンス・インカレ研究発表会」において、写真の高木翔平さん(右3年:常磐高)と宮地頼太さん(左3年:伊万里高)がグッドパフォーマンス賞を受賞しました。



福岡六大学野球 春季リーグ開幕。

福岡六大学野球春季リーグが4月11日(土)に福岡ヤフオク!ドームで開幕しました。12日(日)には初戦の日本経済大戦に4対3で勝利!バス6台で駆け付けた学生や保護者、教職員の応援団は今季初勝利の歓喜に沸きました。



ラグビー部の選抜選手がニュージーランド研修に参加。

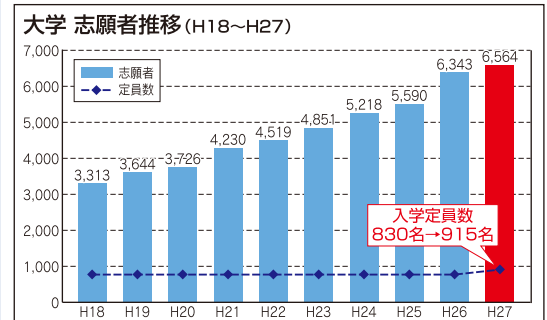
選抜された4人の学生が、世界でも評価の高いワイカトラグビー協会のエリート育成プログラムに参加。1か月間、プロのトレーニング環境下でプレーの技術向上、身体的・精神的な能力の強化、目標設定とそれを達成させるためのプロセスや準備力、社会人としての行動規範やリーダーシップ論等について学びました。目標に向かって挑戦する現地選手の真剣な姿に影響を受けながら、日本とは違う日々の厳しいトレーニングを体験できたことは学生の大きな自信に繋がりました。この研修で学んだ全ての事を他の部員と共有し、全日本選手権ファーストステージの勝利に繋がられるよう邁進します。



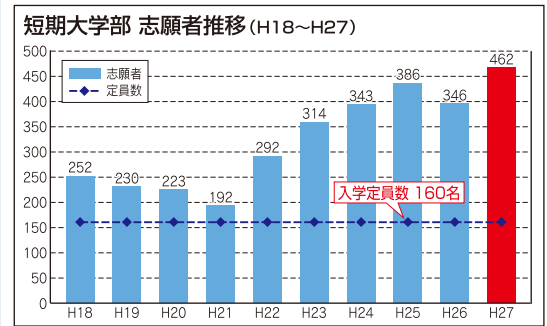
福岡工業大学 平成27年度入試の志願者数が6,564名となり、9年連続で志願者増加となりました。

本学は「For all the students」を経営理念に、丁寧な教育と学生支援に注力してきました。志願者増加は、このような取り組みの継続が評価された結果だと思われます。

今後も情報・環境・モノづくりの分野において教育力を発揮し、社会に広く貢献できる人材の育成をめざし、改革、改善に取り組んでまいります。



また、福岡工業大学短期大学部も平成27年度入試の志願者数が462名となり、この10年間で最高の志願者数となりました。



クラスサポーター合宿

平成27年3月10日(火)・11日(水)の2日間にわたり、グローバルアリーナ(宗像市)にてクラスサポーター(CS)合宿が行われ、平成27年度にCSとして活躍が期待される学生35名が参加しました。

本学ではAL型授業推進プログラムが平成26年度文部科学省「大学教育再生加速プログラム」事業に選定され、今後5年間でAL型授業を全学的に展開し、「実践型人材」の育成を図っていくこととしていますが、その取り組みの中でAL型授業運営の効率化と学習深化を目的に、CSの養成に取り組む計画をしており、今回のCS合宿はその一環として行われたものです。

またこの合宿は、就業力プロジェクト室の小田部特任教員と宮本特任教員の指導・助言のもと、学生スタッフが中心となって計画・運営し、①ファシリテーションについて理解し実践する、②ファシリテーターとしての心構えを身に付ける、③CSの仕事内容について理解する、という3つの目的に沿って、プログラムが準備されました。



フレッシュマンスクール修了式

平成27年2月6日、15時からレストランオアシスにて、フレッシュマンスクールの修了式が行われました。まず始めに、FD推進機構共通教育部会長の阿山先生よりご挨拶があり各先生からもスクール生への言葉をいただきました。ディベティングスキル担当の池田先生から「時間がたつのが早く感じるのは充実していた証拠です。この1年間を基本にして、今後3年間で目標を決め充実させてほしい」と、数学ベーシック担当の太神先生から、「スクール生は数学が苦手だったり嫌いだという人が多いでしょうが、そういうものに1年間継続して取り組んだことに自信を持ってください。今後3年間で勉強以外のやりたいことをぜひ見つけてチャレンジしてほしい」との話がありました。

最後に、レポートディベティングスキル担当の大石先生から「今年は皆勤賞が多くて嬉しく思います。文章力は大人になってからも必要になってきます。必ず誰かが読むことを意識して書くようにして下さい。また、正しい言葉遣いに気を付けてください。」と続けました。

次に、修了証・皆勤賞の代表者への授与が行われ、最後に、1年間通してSA(チューデントアシスタント)として活躍した先輩達からも一言ずつ挨拶があり、閉会となりました。



図書館

学習・就職支援の充実 シリーズ(第11回)
～“e-Book(電子書籍)”の紹介～

図書館は皆さんの学校生活の支援ができるように各サービス・コーナー等を充実させています。

今回は、“e-Book(電子書籍)”の紹介をします。図書館では、デジタル化推進による電子図書館への一歩として、77種のe-Book(電子書籍)の導入を行いました。タイトルは、学生向けの資格・就職・基礎学習関連の図書を取り揃えています。主にWindows Vista・7・8の環境での閲覧が可能です。

また、「FIT VPNクライアントサービス」を利用すると学外からの利用も可能となっています。電子書籍は1回あたり60頁までのダウンロード、印刷が可能です。詳しくは、図書館HPをご確認ください。

<http://www.lib.fit.ac.jp/search/ebook/index>

e-Book(電子書籍)
タイトル例



モノづくりセンター

プロジェクトリーダー研修会

2月27日(金)から28日(土)の二日間、モノづくりセンターのプロジェクトリーダー研修会を湯布院のFITセミナーハウスで行いました。

今回の研修は、今後のプロジェクト活動において活用する問題解決の手法を学び、実施する対策をたてることが目的。初日は品質管理のツールのひとつである特性要因図を学生が4チームに分かれて作成。夜遅くまで奮闘していました。2日目は特性要因図の中から重要と思われる要因について改善策をまとめ、各チーム毎に発表を行い、活発な質疑応答が行われました。

阿比留モノづくりセンター長から、「今回の対策に更に磨きをかけ、1ヶ月後に更に具体的な対策を提出する。」「その具体化には、『見える化』が必要である。」などアドバイスをいただきました。



格闘競技大会ROBO-ONEに参加。

ROBO-ONEは二足歩行ロボットの格闘競技大会です。ROBO-ONEとROBO-ONE Lightの2つのクラスがあり、全国から集まった二足歩行ロボットの頂点を決める大会です。

第26回ROBO-ONE大会は神奈川県厚木市で3月14日・15日に開催され、121体のロボットが参加しました。

本学の二足歩行ロボットプロジェクトからも2体のロボットが参加しました。14日は4.5mを走行する予選が行われ、1体は予選通過したものの、もう1体はタイムオーバーとなってしまいました。翌15日に行われた本戦では、優勝候補と対戦、惜しくも1回戦敗退という結果になりました。出場メンバーは「次回は必ず優勝するぞ!」と雪辱を誓っています。



FIT♡女子会

FIT女子会の活動も今年で5年目となります。FIT女子会は、女性としての品位向上を目指し、活動を通して仲間との絆を

深めるために発足しました。会員は、本学の大学・短期大学部に入学した女子学生全員です。過去の活動では、就職活動に役立つ「美文字講座」「工場見学」、舞台の迫力を体感した「博多座観劇」、笑话をテーマに仕事と子育てについて考えた「茶話会&保育園訪問」、スポーツでは、「ボルダリング講座」、FITセミナーハウスでの料理教室が好評だった「研修旅行」など沢山の活動を行いました。

今年度も楽しいイベントを企画しております。女子大学生の皆さん、多数のご参加お待ちしております。共に学び成長できる素敵な仲間に出会えるはずですよ!



総合研究機構 新たに先端計測機器が導入されました



総合研究機構のエレクトロニクス研究所、情報科学研究所に先端計測機器を整備し、本学の研究力向上に向けて基盤整備を進めています。

エレクトロニクス研究所では、平成27年1月に九州の私立大学では初となる電界放出形電子顕微鏡(FE-SEM)を導入しました。最高観察倍率は100万倍、1.2ナノメートル(nm)(=1.2mの10億分の1)、最大横7cm×高さ5cmの試料観察に対応し、広範な分野の試料をナノレベルで分析・研究可能となりました。

同研究所には、近日中に最新のフーリエ変換赤外分光光度計(FTIR)及び原子間力顕微鏡(AFM)を導入する予定で、ナノテクノロジー分野の研究対応力が大幅に増強されます。

また、情報科学研究所では、最新のモーションキャプチャー装置を導入しました。この装置を活用し、人体やモノの動きを計測し、医用システムや感性情報学、バーチャリアリティなどの研究を進め、近年の情報科学分野の重要領域である実世界指向技術の研究レベルの向上を図ります。

総合研究機構では、これらの装置を活用し、研究成果の向上を図るとともに、高度なスキルを持つ技術者の育成や産学連携にも活用し地域貢献につながるよう取り組んでいきます。

長崎大学、熊本県立大学と「環境共生フォーラム」を開催しました ～国公私立3大学環境分野連携～

福岡工業大学は、社会環境学部を中心に長崎大学や熊本県立大学の環境系学部と親密な学術交流を重ねてきましたが、昨年12月、地域の環境問題の解決とそれに取り組む人材の育成を目的に、国立、県立、私立の枠を超えた包括的連携協力を締結。このたび協定締結のキックオフとなる「環境共生フォーラム」を、平成27年2月21日、熊本県立大学で開催しました。

3大学の教職員、大学院生など約70名が参加したフォーラムは、岩坂泰信名古屋大学名誉教授による基調講演、パネルディスカッション、ポスターセッションの3部構成で進められました。本学からは社会環境学部長の坂井宏光教授がパネリストとして登壇し、『環境の教育・研究、連携のはじまり』をテーマに、長崎大学田井村教授、熊本県立大学堤教授と、各大学で実践している教育研究の紹介や今後の具体的連携に関するやり取りを披露。FD研修しながらの充実した内容に、会場からは今後の連携交流に対する関係者の熱い想いや期待が伝わってきました。

またポスター発表には本学より6人の先生方が参加。環境分野をフィールドとする他大学の研究者や学生との研究交流が進められていました。



大学の地域連携推進室 地域の病院、介護事業者と包括的連携協定を締結しました ～“医介学”連携による地域貢献～

福岡工業大学は、社会医療法人財団 池友会 福岡和白病院、社会福祉法人創生会と、平成27年3月5日に包括的連携協定を締結。健康長寿を基盤とした地域の発展とそのため必要な人材の育成を目指すこととなりました。

本協定は東区和白校区を中心に、5キロ圏内に近接する本学と福岡和白病院、創生会が、包括連携のもと、一体となって健康で豊かな地域づくりに貢献していくという取り組みです。実際に、医療・社会福祉系の学部を持たない大学と病院、介護施設による連携は全国的にも珍しく、締結式当日はTV局2社、新聞5社、経済誌1社の取材を受けました。医療・介護問題と地域活性化に3者がどのように連携し貢献していくのか、社会的関心の高さが窺えます。

締結式で、伊藤翼福岡和白病院院長は地域医療を進めるうえでの機能分化と連携の必要性を強調、伊東慎太郎創生会常務理事もこの連携が地域にとってプラスになることを力説されました。本学の下村輝夫学長は、インターンシップ拡大による人材育成や介護ロボットの開発といった学術研究面での協力はもとより、3者の資源を活用した「健康講座」の開催など、幅広い年齢層を対象とした生涯学習を推進し、新しいカタチの地域貢献を目指していきたいと述べられました。



大学・地域連携推進室

安定的に90%を上回る就職率

就職率 = 就職内定者数 / 就職希望者数

大学 **98.5%** 短大 **97.5%** 大学院 **90.0%**

就職課 就職活動体験記 ~就職活動を振り返って~

多くのコミュニケーションこそ内定への近道

公門 翼さん

工学部知能機械工学科卒業 (佐賀東高校出身)
株式会社 神戸製鋼所 加古川製鉄所入社

私は就職活動をはじめたのは2月で、説明会への参加や面接を実際に行ったのは3月頃でした。周りの友人よりも活動の開始が遅いと感じていましたので、他の人よりも積極的に就職課に足を運んで履歴書を添削してもらったり、過去の資料を見て受験の対策を入念に行うようにしました。また私はコミュニケーションを取ることが好きだったので、多くの人から色々な意見を聞いて情報を増やし、また違う大学の人も積極的に会話するよう心掛けました。

面接では自分の思いや熱意をしっかりと伝えることができ、事前の準備と色々な人とコミュニケーションをしっかりとったことが良かったと実感しました。就職活動は早めの準備が大切です。たくさんの方の企業にエントリーして選択の幅を広げておくといいと思います。頑張ってください。



自分らしく自信を持って

黒川 準平さん

情報工学部情報通信工学科卒業 (福岡魁誠高校出身)
株式会社 NTTフィールドテクノ入社

私はアルバイトをしながら就職活動を行っていたので、空いている時間でいかに準備できるかを考えて活動していました。また1年留年をしていたこともあって、自分が企業から内定をもらえるのか不安な気持ちでいっぱいでしたが、就職課の担当の方から「自分らしくやれば絶対大丈夫!」と励ましてもらって、不安や緊張がほぐれて自信を持って活動できました。この言葉をかけてもらったからこそ良い結果を得ることができたのだと思います。

就職活動は大変ですが、大変なのは自分だけではありません。不安も大きいと思いますが、就職課の担当の方のアドバイスは大きな力になりますので、積極的に就職課に行き早めに準備をしていくといいと思います。



とことん楽しむことが大事

上原 大樹さん

社会環境学部社会環境工学科卒業 (須恵高校出身)
SMBCフレンド証券 株式会社入社

「就職活動は一度しかないから、とことん楽しめ。楽しんだ人ほど良い結果が待っている。」この言葉が私の就職活動の活力になりました。この言葉をいただいてから私は毎日色々な業種の説明会に参加し、刺激を受けることで徐々に自分がやりたいことが見えるようになりました。毎日新しい発見もあり、自然と楽しみながら活動することができたことが内定に繋がったと実感しています。

皆さんにとって一番の会社が必ずあると思います。業界や職種を最初から絞り過ぎず、色々な会社の説明会にどんどん参加してみることをお勧めします。きっと良い出会いや発見があるはず。また就職活動は健康管理も大事です。夜更かしせずに規則正しい生活を送ることも大切だと思います。就職活動を自分らしく笑顔で楽しんでください!



頑張ったといえるものが最大の武器

石田 沙絵さん

短大 ビジネス情報工学科卒業 (折尾高校出身)
九州三菱電機販売 株式会社入社

就職活動はすごく辛く、大変なイメージがあったり活動前は不安が大きかったですが、毎日求人票を見て説明会に行き、社会や職業のことを知っていくことで学ぶことが多く、前向きに活動できるようになりました。また私は在学中に資格取得に一生懸命取り組み、誰にも負けたいと言えませんでした。この頑張りがあったからこそ自信を持って就職活動に臨むことができ、希望の会社に巡り合えたと思います。

学校生活で1つでもよいので頑張ったと自信を持って言えることがあるとそれが絶対に武器になります。どんなことでもいいと思いますので、少しずつでも何かに取り組んでみると良いと思います。

悩んだり困ったときは進路相談課の担当の方にも相談する等して、周りを気にし過ぎず、自分らしく自分なりのペースで頑張ってください。



国際交流 FINE体験記 1年間の留学プログラムを終えて



林 裕也さん

電子情報工学科4年
(香住丘高校出身)

私がFINEプログラムへの参加を決意した理由は、英語力を向上させたということはもちろんですが、他に2つの理由がありました。

一つ目が、視野を広げるということです。アメリカには日本と違い様々な国から多くの人々が英語学習や仕事のために訪れています。特に、私が所属していたCSUEBのALPプログラムには世界中から多くの生徒が集まっています。クラスはもちろんですが、様々な留学生対象のイベントが学校で定期的に開かれていますので、それらを通して友達を作ることが出来ました。イベントの中には、自分たちの文化紹介を行うというものが頻りに開催されているのですが、それらは異文化を学ぶにあたって非常に良いものでした。しかし、友達を多く作り彼らと時間を共にするということが、視野を広げるという点、また英語力を向上させるという点に置いて一番の方法ではないかと思えます。

二つ目の理由、これが一番大きな目標だったのですが、シリコンバレーにある企業で彼らの最新技術へのアプローチの仕方、またどのような経営戦略を行っているのかを知るということです。私は、将来アメリカで働きたいという考えを持っていますので、アメリカで職を得るという意味では、私の留学の中では非常に大きなポイントとなっていました。こちらについては、夏休みに参加させていただいたグローバルプロ養成プログラムを通して、インターン先を紹介してもらい、最終的にはNeuroSkyという企業でインターン先をさせていただきました。インターン先ではソフトウェア開発を中心に仕事をさせていただきましたが、その他にも実際の職場がどのようなものであるのか、開発者の方々がどのような考え方をもち製品開発を行っているのかなどを学ばせていただきました。これらの経験、知識は私の今後を大きく左右するのではないかと考えています。

私はこの留学を通して沢山の人と出会い、多くのことを学ばせていただきました。一年間を共にした仲間たちとの別れは非常に寂しく、もっとアメリカで彼らと生活をしたいという気持ちが強いのは事実です。しかし、私にはこれからやらなければならないことが多くあります、足を止めている時間はありません。

日本に帰国するというのは私にとって人生の大きな節目であり、帰国後のスタートダッシュで失敗しないよう、気持ちを強く持ち日本に帰国したいと思います。

最後に、この留学を支えてくださった方々本当にありがとうございました。



大学院 平成26年度 8名の博士(工学)誕生!!

平成11年度に開設された博士後期課程は、16年目を迎えた平成26年度には社会人及び海外からの留学生を含む8名の博士(工学)が誕生しました。これまでの累計は課程博士43名、論文博士4名となり、高度な知識と高い倫理観を備えたリーダーとして国内外の様々な分野での活躍が始まっています。

博士後期課程 年度毎の学位取得者数

年度	修了者数	学位授与数	
		課程博士	論文博士
H13	2	2	2
H14	2	1	2
H15	0	0	1
H16	1	4	1
H17	2	2	3
H18	2	1	2
H19	1	1	4
H20	4	1	4
H21	4	1	4
H22	3	1	4
H23	2	1	3
H24	1	1	1
H25	3	3	4
H26	5	2	8
合計	32	21	43

①アカデミックガウンを着用した博士の学位授与者たち。
左から、荻野毅さん 学位No.37・ソムハ ウオラウイットさん 学位No.40
キウメイゲツさん 学位No.39・武末正文さん 学位No.41
中沢吉博さん 学位No.42

当日出席できなかった学位授与者
中武義将さん 学位No.38・スリラタナ ウィサラットさん 学位No.36
シリチャイタマルクワツナさん 学位No.43

①修了者: 課程年度内に必要単位を修得し、学位論文試験に合格した者
②課程博士数: 各年度別の在籍年度内学位取得者十単位取得満期退学後3年以内の学位取得者

エクステンションセンター

●無料で受講ができる大学特別補助講座が増えました!

エクステンションセンターでは、在学生に向けて資格取得講座の開講や検定試験の受付など、資格取得への支援を行っています。今年度は、大学特別補助講座が増え、更に受講しやすくなりました。また、学部・学科との協力開催の講座はほとんどが無料となっています。

無料で受講できる講座 (※試験料・教材費は各自負担)

- ・MOS2013 (Word, Excel, Wordエキスパート, Excelエキスパート, Access, PowerPoint)
- ・日商簿記3級
- ・リテールマーケティング(販売士)2級
- ・eco検定
- ・SPI(3年生対象, 教材費無料)
- ・その他各学部・学科による講座(CCNA, LPIC, 通信系の講座など)

補助により安価で受講できる講座

- ・基本情報対策講座
- ・ITパスポート対策講座
- ・TOEIC 入門講座・450点突破講座・ハイレベル講座(英語ワーキンググループ主催)

●本学教員によるFIT講座を開講します

学生のみならず、地域に開かれた大学づくりの一環として、半年ごとの文化教養講座を開講しています。4月からスタートした春夏講座では、本学の教員による「FIT講座」や、カービング講座、介護講座、お子さま向けのダンス講座など1日で受講できる講座もたくさんご準備しました。

特に、本学の教員による「FIT講座」は、学内外や年齢を問わずに参加でき、興味深い内容を分かり易く公開しているため、地域の方と学生がコミュニケーションをはかれる場として、毎回好評をいただいています。

FIT講座

6/5(金) 13:00~14:00

大きくなる病院、なくなる病院

講師: 松藤賢二郎(社会環境学科 准教授)

平成27年3月卒業生の就職状況

主な内定先

2015年3月20日現在		
(株)九電工	(株)協和エクシオ	(株)ゼンリン
(株)神戸製鋼所 加古川製鉄所	(株)東芝	(株)富士通
NECフィールドイング(株)	(株)大塚商会	(株)コスモス薬品
(株)セブン-イレブン・ジャパン	ロイヤルホールディングス(株)	(株)福岡銀行
西日本シティ銀行(株)	九州旅客鉄道(株)	

短期大学部

平成26年度 卒業式 学長賞受賞者表彰報告

3月20日、第54回福岡工業大学短期大学の卒業式が挙行されました。短期大学部では、在学中に努力を重ねた学生に対して、その栄誉を称え、学長賞を授与しています。

今年度は12名(述べ17名)の学生が表彰を受けました。情報メディア学科では渡辺 翔さんが、成績優秀賞・貢献賞、上田 鮎美さんが貢献賞・CG-ARTS協会賞、ビジネス情報学科では宗 宏美さんが成績優秀賞・貢献賞・最多資格取得賞を受賞と3人の重複受賞者がいました。



平成26年度(第54回)卒業式 学長賞受賞者一覧

各賞	学科名	氏名	出身高校
成績優秀賞	情報メディア学科	内倉 佑基	宮崎工業高校
		渡辺 翔	城東高校
		宗 宏美	福岡西陵高校
電気学会九州支部長賞	情報メディア学科	富吉 卓寿	情報科学高校
CG-ARTS協会賞	情報メディア学科	上田 鮎美	大分東明高校
貢献賞	情報メディア学科	上田 鮎美	大分東明高校
		内倉 佑基	宮崎工業高校
		河合 沙綾	高卒認定
		深川 裕子	香椎高校
		元田 遥	香椎高校
		吉井 啓晃	諫早商業高校
	ビジネス情報学科	渡辺 翔	城東高校
		堺 彩子	香椎高校
		宗 宏美	福岡西陵高校
		山本 弓華	城東高校
		宗 宏美	福岡西陵高校
		田中 菜摘	城東高校
最多資格取得賞	ビジネス情報学科	宗 宏美	福岡西陵高校
		田中 菜摘	城東高校

高短接続教育 修了証授与式

この接続教育は、短大と城東高校の間で連携教育に関する協定書を締結し、平成21年度より城東高校普通科II類、工業科の生徒を対象に実施しています。科目等履修生として短大講座を受講し、修了した生徒が短大に入学した場合は1科目につき2単位が認められます。今年度は普通科II類3年生37名、工業科3年生32名が短大講座を修了して、修了証書が授与されました。短大石塚教務部長は、生徒の熱心な講座への取り組みを称え、今後も、さらにプログラムを充実させ、満足度の高い講義をめざし教職員一丸になって取り組みますと話しました。



平成26年度 卒業記念パーティ

3月20日グランドハイアット福岡に於いて、卒業生の新たな門出を祝い短期大学部卒業記念パーティが開催されました。パーティは毎年卒業式終了後に校友会の主催で行われ、企画から運営まですべて在学生の手で行われています。お世話になった先生方と記念撮影をしたり、校友会メンバーが制作した先生方から卒業生に贈るメッセージ映像を見たり、感動のシーンが繰り広げられ一同感動の面持ちでした。卒業生の皆さん、これからのご活躍をお祈りしています。



平成26年度 資格取得実績

検定・資格名	合格者数
ITパスポート	6
日商簿記検定	15
CG-ARTS検定	16
建築CAD検定	13
秘書検定	22
医科第3級医療事務技能検定	10
日商PC検定	25
MOS	3
色彩検定	7
日本語検定	1
福祉住環境コーディネータ3級	1
合計	119

短期大学基準協会による 第三者評価で「適格認定」

福岡工業大学短期大学部は、平成26年度、短期大学基準協会による第2期目となる第三者評価(認証評価)を受審し、「福岡工業大学短期大学部は、本協会が定める短期大学評価基準を満たしていることから、平成27年3月12日付で適格と認める。」との評価結果をいただきました。

今回の評価結果では、自らの掲げる教育理念の実現及び教育目標の達成に向けて順調に進捗しているとの評価をいただいております。引き続き、学生およびご父母をはじめとする地域の皆様のご期待にお応えできるよう、教育・研究活動の充実・発展に教職協働で推進してまいります。



ACCREDITED 2014

平成26年度 短大生就職状況

内定者	2015.03.31現在		
	情報メディア学科	ビジネス情報学科	全体
就職希望者	35	44	79
就職者	34	43	77
就職率	97.1%	97.7%	97.5%

短期大学部生 主な内定先

情報メディア学科	ビジネス情報学科
株式会社 ヨドバシカメラ	TOTO 株式会社
ハウステンボス 株式会社	株式会社 キタムラ
自衛隊	株式会社 ヨドバシカメラ
福岡運輸 株式会社	コネクシオ 株式会社
株式会社 平田ナーセリー	ジャパン福岡ペブシコー販売 株式会社
株式会社 全日警	株式会社 ハルコム
株式会社 日本テレメッセージ	九州三菱電器販売 株式会社
株式会社 ワールドインテック	ネットヨタ北九州 株式会社
ディーピーティ 株式会社	九十九島グループ
株式会社 セノン	株式会社 新生堂薬局
株式会社 イシカワ	株式会社 オンワード樺山

平成27年度 新入生オリエンテーション

4月2日の入学式後、新入生とその保護者を対象にオリエンテーションが行われました。

オリエンテーションでは石橋学科長進行のもと短期大学部教員紹介が行われ、石塚教務部長、吉原学生部長、小田教育改善委員長より短大2年間での心構え、注意事項等の説明が行われました。

短期大学部は教員全員で学生の将来に向け全力でサポートします!



OPEN CAMPUS 2015

オープンキャンパス

入学前の疑問や不安は、オープンキャンパスに参加して解消しましょう。楽しくて、ためになるイベント盛りだくさんでお待ちしています。

お問い合わせ先【広報課】

TEL 092-606-0607 (直通)



博多駅から14分。快速も停車。JR「福工大前駅」から直結。



7/25 SAT

福工大&福工大短大のすべてがわかる!<その1>

- 学部・学科紹介 (学科相談・展示・実演・研究内容体験)
- 入試対策講座 (推薦入試/一般入試)
- クラブ・サークル公開
- 資格・奨学金説明会
- 保護者説明会・保護者相談コーナー
- 就職支援説明会・内定者メッセージ

8/2 SUN

福工大&福工大短大のすべてがわかる!<その2>

- 学部・学科紹介 (学科相談・展示・実演・模擬講義・研究内容体験)
- 入試対策講座 (推薦入試/一般入試)
- クラブ・サークル公開
- 資格・奨学金説明会
- 保護者説明会・保護者相談コーナー
- 就職支援説明会・内定者メッセージ

9/12 SAT

受験校を決定する前にしっかり調べておこう

- 学部・学科説明会・相談会
- 入試対策講座(推薦入試)
- 入試説明会・就職説明会
- 模擬講義
- 体験イベント
- しゃべくりFIT
- ロボット相撲を体験しよう

11/3 TUE

最後のチェック & 学園祭を楽しもう!

- 入試対策講座(推薦入試/一般入試)
- 研究室公開
- 資格・奨学金説明会
- 保護者説明会(入試・就職説明会)
- 学部相談 ○体験イベント
- しゃべくりFIT
- 学園祭同時開催

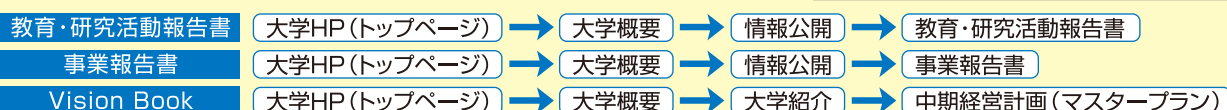
各開催日共通イベント

- 入試相談 ○就職相談 ○奨学金・学生生活相談 ○キャンパスツアー ○施設見学(男子寮・女子寮含む)
- 学園紹介DVD上映 ○マスコットロボットによる実演 ○おいでよ!女子カフェ ○English Lounge ○学食無料体験

学園情報の積極的な公表を推進しています。



26年度の本学の教育・研究活動をまとめた「平成26年度教育・研究活動報告書」は7月に完成いたします。本学ホームページ上でも公開する予定です。デジタルブックレット形式で閲覧が可能です。また、学園全体の経営計画である「VISION BOOK」、経営・財務情報を中心にまとめた「事業報告書」もホームページにも公開いたします。



※大学ポータル(私学版)サイトでも情報を公表しています。日本私立学校振興・共済事業団では私立大学・短期大学における様々な特色や取り組みを検索できるサイトを一般公開しています。URL <http://up-j.shigaku.go.jp/>